佐渡市報道資料

【本送信票を含む2枚】

令和7年8月5日

さどマッチボックス活用における「佐渡総合病院」のモデル企業選定について

当市では、地域医療の安定のために、医療に関わる人材確保を支援したいことから、この度、佐渡総合病院を「さどマッチボックス」のモデル企業とし、人的・告知・費用支援を開始しました。

この取組では、「さどマッチボックス」を通じて、柔軟な働き方の推進、スキルや資格を持つ人材のスポット採用、仕事の切り出しにおける現場負担の軽減などを図り、深刻な人手不足の解消と地域課題の解決に向けた先進的な事例を生み出すことを目指します。

詳細は、別紙概要をご覧ください。

※現在、株式会社 Matchbox Technologies が運用支援を行っている自治体 17 プラットフォームの中で、初めて「さどマッチボックス」がモデル企業を選定しました。

本件についての問い合わせ先
佐渡市役所地域振興部地域産業振興課
担当：長嶋・金子
電話（直通）0259-67-7863

【マッチボックス】佐渡総合病院モデル企業　事業概要

佐渡総合病院をモデル企業とする理由

・佐渡総合病院は佐渡市最大規模の医療機関であり、市民の健康と安心を支える中心的な存在。
十分な人材確保が実現されていない場合、市民が必要な医療サービスを受けにくくなるリスクがある。地域医療の安定と市民生活の安心のためにも、佐渡総合病院の人材確保をしっかり支援したい。

・佐渡総合病院のような知名度と規模を持つ医療機関が、雇用支援の成功事例やノウハウを発信することで、他の医療機関や企業の導入・挑戦のハードルを下げ、地域全体の医療人材確保や雇用創出に大きな波及効果をもたらす。

・「さどマッチボックス」との連携や、佐渡総合病院の積極的な取組を通じて、市民に対しても安心感や信頼性が高まると考える。

市が支援する内容

人的支援	・佐渡総合病院の専属担当者を配置。マーケティング担当、営業担当、プロジェクト管理者を配置し、佐渡総合病院の人材確保を円滑にできるようサポート。定期的な打合せ、現地訪問。
告知支援	・院内に掲示する制作物の作成 。事例集の作成 、テレビでの特集枠 。市とMBT社からのプレスリリース
費用支援	・半年間の費用を一部支援